

世界的な日本酒品評会

「小町桜別囲い」最優秀

世界最大規模の日本酒とワインの品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」で、手頃な価格で普及している酒の最優秀賞「グレート・バリュー・チャンピオン」に、渡辺酒造店(飛騨市古川町壱之町)の「小町桜 別囲い」が選ばれた。

出品された総計1401の銘柄のうち、4合びん換算で10万本以上の生産量があり、小売価格は千円以下、という基準のグループの中で最も高い評価を受けた。同社は2016年にも小町桜で同賞を



最優秀賞を受けた「小町桜 別囲い」(右)と受賞銘柄＝飛騨市古川町壱之町、渡辺酒造店

渡辺酒造店

受けており、2度目の受賞は品評会史上で初めてという。

小町桜は1900年ごろに地元住民向けに開発された「晩酌の酒」(同社)。力仕事の疲れを癒やす甘さと、適量で満足できる味わいを両立した。当時の労働者の所得で買える価格に抑えてある。価格と人気、品質のバランスが品評会で注目された。

渡邊久憲社長は「家庭で普段から楽しまれてきた酒が国際的な賞を受けたことで、飛騨の食文化の豊かさを発信できた」と喜ぶ。

同品評会は10月29日～11月1日に英国ロンドンで開かれ、今月7日にオンラインで各部門の最優秀の銘柄が発表された。同社は他に2銘柄が入賞した。(稲木悠司)